

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|----------|---|---|
| 事故等番号 | 2008横第29号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成20年8月5日 11時50分ごろ | |
| 発生場所 | 三重県尾鷲市賀田港 古江港灯台から真方位247° 1,160m付近 (概位 北緯33° 58.3′ 東経136° 11.7′) | |
| 事故等調査の経過 | 平成20年10月1日、本事故の調査を横浜地方海難審判理事所から引き継ぎ、調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | <p>船種船名、総トン数 貨物船 第七^{うんえい}運栄丸、499トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 132330、有限会社山二海運</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、五級海技士（航海）</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 船底及びプロペラに擦過傷</p> | |
| 事故等の経過 | 本船は、船首約3.5m、船尾約5.0mの喫水で、賀田港において出港作業中、係船ロープが切断し、ロープ取り直し作業中、強風と潮流の影響で圧流されて、平成20年8月5日11時50分ごろ、浅所に船底が乗り揚げた。 | |
| 気象・海象 | <p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 5、視界 良好</p> <p>海象：波高 約2m、潮汐 下げ潮の中央期</p> | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | <p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、賀田港において出港作業中、強風と潮流を考慮した作業を行わなかったため、係船ロープが切断し、ロープの取り直し中、圧流され浅所に乗り揚げた可能性があると考えられる。</p> <p>事故現場付近の気象観測では、当日11時50分～12時20分にかけて最大瞬間風速9m/s 強が観測されていた。</p> |
| 原因 | 本事故は、本船が賀田港において出港作業中、強風と潮流を考慮した作業を行わなかったため、係船ロープが切断し、圧流されて浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。 | |